Syntakt OS 1.40
差分マニュアル (2026.3.11) OS1.40準拠

概要

この差分マニュアルは、Syntakt OS 1.40 にアップデートされた際に、英文取扱説明書原本で更 新された箇所のみを抜粋して翻訳したものとなっています。

1. 新規追加マシン (New Machines)

原文ページ 96 APPENDIX A: MACHINES

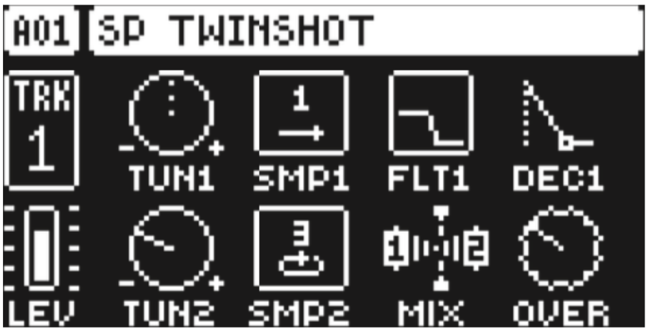
SP TWINSHOT

Twinshot マシンでは、2つの独立したサンプルを読み込み、順方向（フォワード）または逆方向（リバース）で再生することができます。

1つ目のサンプルには専用のフィルターおよびディケイコントロールが用意されており、サウンドをさらに細かく調整することが可能です。

Twinshot は非常に柔軟性の高いマシンで、さまざまな用途に使用できます。例えば、1つ目のサンプルをトランジェント（アタック部分）として使用し、2つ目のサンプルをサウンドのボディ部分として使用する、といった使い方が可能です。

ドラム用途では特に、ハイハット、シンバル、その他のドラム／パーカッションサウンドなど、シンセシスだけでは作りにくいサウンドの再生に適しています。



TUN1 (Tune 1)

SMP1 で選択したサンプルのピッチを設定します。このパラメーターはバイポーラです。設定値が **0** の場合、ピッチは変化しません。

SMP1 (Sample 1)

スロット1に読み込むサンプルを選択します。パラメーター値がマイナスの場合、同じサンプルスロットのサンプルをリバース再生します。
このパラメーターのスナップ値では、同じサンプルの順方向再生（フォワード）と逆方向再生（リバース) を切り替えることができます。

FLT1 (Filter)
SMP1 のサンプルに作用する DJスタイルのフィルターです。
パラメーター値がマイナスの場合はローパスフィルターとして動作し、プラスの場合はハイパスフィルターとして動作します。

DEC1 (Decay)
サンプル1のディケイフェーズの長さを設定します。

TUN2 (Tune 2)
SMP2 で選択したサンプルのピッチを設定します。このパラメーターはバイポーラです。設定値が **0** の場合、ピッチは変化しません。

SMP2 (Sample 2)
スロット2に読み込むサンプルを選択します。パラメーター値がマイナスの場合、同じサンプルをリバース再生します。
このパラメーターのスナップ値では、同じサンプルの**順方向再生（フォワード）と逆方向再生（リバース）**を切り替えることができます。

MIX (Mix)
サンプル1とサンプル2のレベルバランスを設定します。

OVER (Overdrive)
デジタルオーバードライブへ入力されるゲイン量を設定します。

サンプル2のループ再生について

サンプルスロット2に読み込まれたサンプルはループモードで再生することができます。この場合、サンプルは先頭から繰り返し再生され、最後まで再生されると自動的に再スタートします。

スロット2のサンプルは、以下のいずれかの条件を満たすとループ再生されます。

- **AMPエンベロープの MODE が ADSR に設定されている場合**
- **AMPエンベロープの MODE が AHD に設定され、HOLD が NOTE に設定されている場合**

原文ページ19 OVERVIEW OF THE SYNTAKT DATA STRUCTURE

6.2.4 SAMPLES（サンプル）

Syntakt には最大 32MB までのサンプルを読み込むことができ、最大 64 個のサンプルスロットを使用できます。

各スロットには最大 5秒（約0.5MB）までのサンプルを格納できます。

サンプルは +Drive に保存され、対応するネイティブのサンプルファイル形式は 16-bit / 48 kHz / モノラルの .wav ファイルです。

コンピューターからサンプルを転送する場合は、Elektron のウェブサイトからダウンロードできる無料ソフトウェア Elektron Transfer を使用してください。

コンピューターから Syntakt へサンプルを転送する

1. USBケーブルで Syntakt をコンピューターに接続します。
2. コンピューターで Elektron Transfer ソフトウェア（Elektron のウェブサイトから入手可能）を起動します。
3. Transfer の CONNECTIONS ページで、MIDI IN と MIDI OUT のポートを Syntakt に設定します。
4. Transfer で EXPLORE タブをクリックし、EXPLORE ページを開きます。
5. 画面右上のドロップダウンメニューで **「Samples」** を選択します。
6. 画面左上のドロップダウンメニューで **「My Computer」** が選択されていることを確認します。
7. **「My Computer」**の下で、転送したいファイルまたはフォルダに移動します。
8. ファイルまたはフォルダを、デバイス上の任意の場所へ ドラッグ＆ドロップします。
9. Transfer は .wav、.aiff、.mp3 など多くのオーディオフォーマットを自動的に 16-bit / 48 kHz / モノラル .wav（Syntakt のネイティブ形式）に変換します。

また、サンプルの長さが 5秒を超える場合はトリミングされます。
サンプル転送後、サンプルを使用可能にするため Syntakt を再起動してください。

- **サンプルはグローバルに保存され、すべてのプロジェクトで共有されます。そのため、サンプルを削除・置き換え・並び替えすると、それらのサンプルを使用しているすべてのプロジェクトに影響します。**

- **サンプルメモリーが完全にいっぱいの場合、Syntakt の起動に最大30秒程かかることがあります。**

2. システム設定の拡張 (New Menus)

原文ページ80 14. SETTINGS MENU PERSONALIZE (パーソナライズ) メニューの統合

これまで別の場所に設定されていた項目が統合され、新しいカスタマイズ項目が追加されました。

- LED NTENSITY: LEDの（明るさ）、LED BACKLIGHT（バックライト）の設定がここに移動。
- REMEMBER SUBPAGE: 最後に開いていたサブページを記憶する設定が移動。
- TRK SELECT: トラックボタンを押した際の挙動を選択可能。
- PAGE AUTOCOPY: パターンの長さを拡張した際、既存のトリガーを自動で新しいページにコピーするかを選択可能。
- LIVE REC OVERDUB: 既存のトリガーを「置き換える」か、あるいはノートやパラメーターロックを「追加（レイヤー）」するかを選択可能。
- NOTE PARAM: NOTEパラメーター調整時、ノブを「回す」のと「押し回し」で、クロマチック（半音）かスケール（音階）のどちらを優先するかを反転可能。

原文ページ 74 14. SETTINGS MENU Control All (コントロール・オール) 設定

14.3.6 CONTROL ALL の設定

[TRIG]キーを使って、CONTROL ALL 機能の影響を受けるトラックを選択します。
MIDIトラックは選択できません。

- 場所: **[PATTERN]** メニュー内
- 機能: 全トラックのパラメーターを同時に変更する「Control All」の動作範囲を詳細に設定できるメニューが追加されました。

- **CONTROL ALLの操作は、アクティブトラックにも適用されます。**
  そのトラックがCONTROL ALLの対象として選択されているかどうかに関わらず, 影響を受けます。

- **CONTROL ALL機能はMIDIトラックでは使用できません。**

原文ページ 74 14. SETTINGS MENU Track Relations (トラック・リレーション)

Track Relations (トラック・リレーション)

- 場所: **[PATTERN]** メニュー内
- 機能: 複数のトラックをレイヤー（同時発音）させたり、チョーク（あるトラックが鳴ると別のトラックをカットする）を設定したりできます。
ハイハットのオープン/クローズの設定などに有効です。

14.3.7 TRACK RELATIONS

トラックリレーションの設定では、トラック同士がどのように相互作用するかを定義します。
設定には Layering（レイヤリング） と Choking（チョーキング） の2種類があります。

Layering を使用すると、シーケンサーまたはキーボードからの同じノートで、2つ以上のトラックを同時にトリガーすることができます。
例えば、トラック1がトラック2をトリガーするように設定すると、トラック1で演奏したすべてのノートがトラック2でも同時に再生されます。これにより、2つのプリセットを同時に鳴らすことができます。

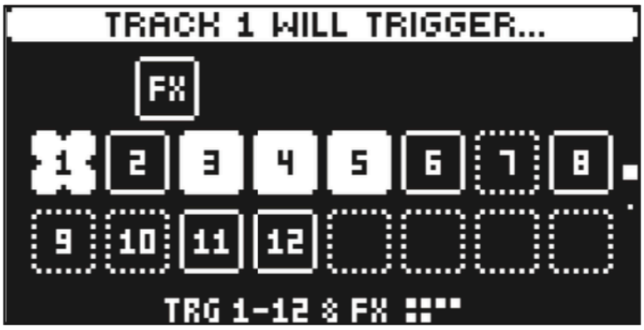
ただし、レイヤリングによってトリガーが連鎖（カスケード）することはありません。

トラック3がトラック2によってトリガーされるように設定され、さらにトラック2がトラック1によってトリガーされるように設定されている場合でも、トラック1に配置されたトリグがトラック3をトリガーすることはありません。
アクティブトラックにレイヤーされているトラックは、画面上のパラメータ表示で塗りつぶされた四角形で示されます。

Choking は、あるトラックが1つまたは複数の他のトラックのサウンドを遮断するサウンドデザインの手法です。まず、チョーキングを行うトラックを選択し、そのトラックがチョークする他のトラックを選択します。チョーカートラックがトリガーされると、チョーク対象として選択されたトラックにはノートオフメッセージが送られ、即座にミュートされます。通常のエンベロープのリリースはスキップされ、非常に短いリリースに置き換えられます。

トラックリレーションを設定するには、**[TRACK] + [TRIG 1–12]/[FX]** を押してアクティブトラックを選択します。その後、**[TRIG]** キーを使用して、アクティブトラックに対してレイヤーする、またはチョークするトラックを選択します。**[UP]** と **[DOWN]** を押すと、レイヤリング設定画面とチョーキング設定画面を切り替えることができます。

アクティブトラックは赤色の **[TRIG]** キーで表示されます。レイヤーされているトラックは黄色の **[TRIG]** キーで表示されます。チョークされているトラックは青色の **[TRIG]** キーで表示されます。



Mute Prepare (ミュート・プリペア)

原文ページ 26 7. INTERACTING WITH THE SYNTAKT

- 操作: ミュートモード中に **[FUNC]** を押しながらトラックを選択
- 機能: 実際にミュートが実行される前に、複数のトラックをあらかじめミュート（または解除）状態にセット（予約）できます。

新しいトリガー条件 (Trig Conditions)

原文ページ 45 9. THE SEQUENCER

- LST: パターンの最後のループで発動。
- Not LST: 最後のループ以外で発動。
- Not A:B: A:B の条件が成立「しない」時に発動。

ページ/トラック単位のパラメーターロック

原文ページ 44 9. THE SEQUENCER

- 操作: **[TRIG]** キーを押しつつ、**[PAGE]** または **[TRK]** を押しながらパラメーターを調整。
- 機能: そのページ、またはそのトラック上のすべての有効なトリガーに対し、一括でパラメーターロックを適用できます。

4. UIおよび操作性の向上

- キー・トラッキングの自由化: [SOUND] > [SETUP] メニューにて、最大4つの任意のパラメーターを音程（ノート）で変調できるようになりました。
- FXトラックの強化: マルチモード・フィルターに FILTER PAN が追加され、エフェクト音の定位を操作可能になりました。
- パターン表示の改善: パターン選択ビューが刷新され、パターン・チェイン作成専用の画面が追加されました。
- サブページ移動: KEYBOARD モード以外で、**[UP]** / **[DOWN]** キーを使ってパラメーターページ内のサブページ間を素早く移動可能になりました。
- ミュートモードの記憶: 電源を切っても、最後に使用していたミュートモード（Global/Pattern）が保持されます。

5. 主な修正事項 (Bug Fixes)

- CC/NRPN の修正: OS 1.30で追加されたマシンの誤ったマッピングを修正。
- 録音の安定化: LIVE REC モードでループページを録音中、別のページのトリガーが影響を受ける問題を修正。
- 停止挙動の改善: 長いアタックと無限ディケイの設定時に **[STOP]** 2回押しで音が止まらない問題を修正。
- MIDIトラックの修正: 別のパターンへ貼り付けた後に、MIDIトラックのパラメーターが正しく表示されない問題を修正。

追補 APPENDIX B: MIDI

B.2 TRIG PARAMETERS

TRIG PARAMETERS				
Parameter	CC MSB	CC LSB	NRPN MSB	NRPN LSB
Note	3		3	0
Velocity	4		3	1
Length	5		3	2
Filter Trig	13			
LFO Trig	14			
Portamento Time	9		3	7
Portamento On/Off	65		3	8

B.9 MISC PARAMETERS

MISC				
Parameter	CC MSB	CC LSB	NRPN MSB	NRPN LSB
Pattern Mute	110		1	104
Sustain	64			
Sostenuto	66			